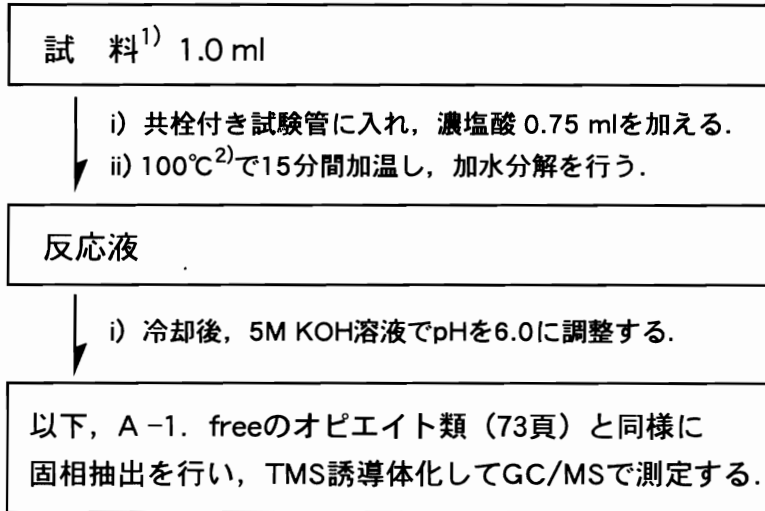


A-2. Total オピエイト類（抱合体+遊離塩基）

(1) ガスクロマトグラフィー・質量分析法（GC/MS）

i) 前処理



【注 解】

- 1) 試料は尿など。
- 2) 油浴、器具乾燥器などを用いる。

ii) GC/MS の条件

A-1. free のオピエイト類と同じ条件（74 頁）で行う。

【注 解】

- 1) ガスクロマトグラフで測定する場合は GC/MS の条件に準じて行う。
- 2) Triage でオピエイトが陽性の場合、確認試験を行うと、鎮咳剤などに含まれるジヒドロコデインが検出されることが多い。
- 3) Triage はグルクロン酸抱合体にも反応する。確認試験では、遊離のオピエイトだけではなく、加水分解して Total オピエイトを測定する必要がある。

【文 献】

1. Nihira M et al. J Anal Toxicol 1998 ; 22 : 61-65.